

オープンソースな人は怒るかも...

オープンソースを斬る

すずきひろのぶ

2005年6月9日

BOF@ソフトウェアシンポジウム

富山国際会議場

フリーソフトウェア侍

オープンソース、誰でも自由に使えるっていうじゃない～

でも、あんたのいっているのはタダで使えるソフトウェアのことをいっていますから。**残念！**

オープンソースって言葉自体がそもそも誤解を助長するための仕組みですから切腹！

フリーソフトウェア

- GNU Projectの目標
 - 完全に*Free*なオペレーティングシステムの構築
 - 当然ながら無料の意味ではない
 - 能天気楽しいから作っているわけでもない

自由なソフトウェア

- 第0の自由
 - 目的を問わず、プログラムを実行する自由
- 第1の自由
 - プログラムがどのように動作しているか研究し、そのプログラムにあなたの必要に応じて修正を加え、採り入れる自由
- 第2の自由
 - 身近な人を助けられるよう、コピーを再頒布する自由
- 第3の自由
 - プログラムを改良し、コミュニティ全体がその恩恵を受けられるようあなたの改良点を公衆に発表する自由

Open Source

- 1997年VA Linux Systemsのオフィスで生まれた造語
 - Eric Raymond、Tim O'Reilly、Larry Augustinらの会議
 - “Linux”ブームを利益に結びつけるためのマーケティング用語
- OPENSOURCES *voice of the Open Source Revolution*
 - オープンソースのバイブルだが編纂者はVA Linux社員、O'Reilly社員らなので当然ながらバイアスがかかった内容
- Open Source Initiative
 - Open Source Definition を作るが実はDebian GNU/Linuxプロジェクトからのパクリ

擬似ライセンスの氾濫

- OSI認定の乱発

- ベンダーへの免罪符？

- 2005年5月に数えたら62ライセンスもあった
 - OSI認定した“オープンソースライセンス”にもかかわらず不備が指摘され、後に修正されたものも少なくない
 - GPLはOSI認定なんて頼んでいないんだけど...
 - 2005年2月のLinux Worldカンファレンスでは3つぐらいに絞るという話も出ている

- 本当にこれでいいのかOSI

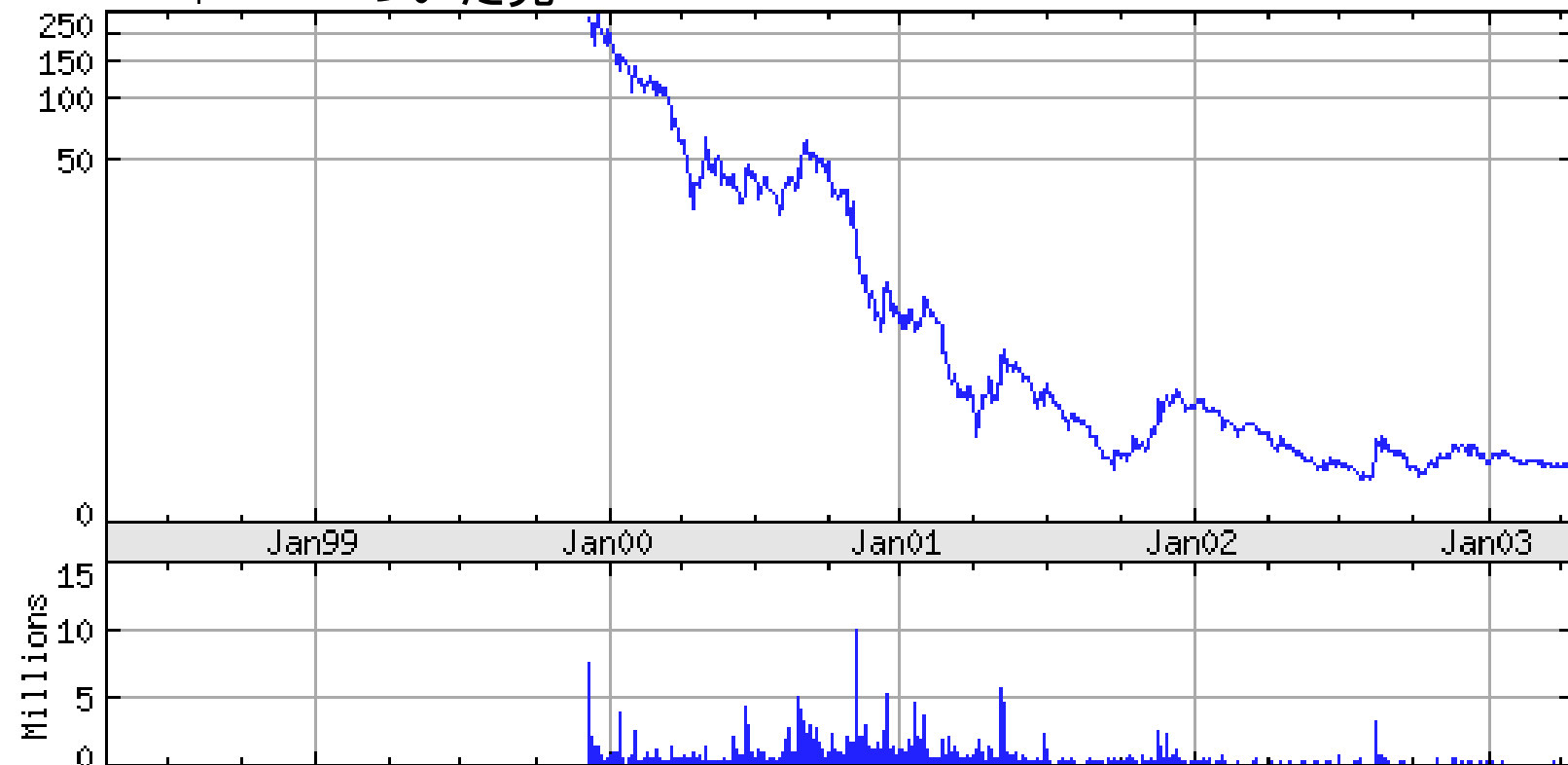
- もともとVA Linux Systems、O'Reilly、Eric Raymondの思いつきだしなあ...

ITバブルの置き土産

彼らがいう所の“Open Source”ビジネスモデルとやらの行き
ついた先

VA SFTWRE CORP

as of 14-Apr-2003



Copyright 2002 Yahoo! Inc.

<http://finance.yahoo.com/>

既にVA Linux Systemsという社名はなくなり、Linux開発ビジネスから
撤退している

オープンソースの成功って

- なんだかんだいってもGNU/Linuxが成功した所から話は始まっている
- でもGNU/Linuxはオープンソースじゃなくてフリーソフトウェアなんですけど...
 - GNU/Linuxは4つの自由を実現するためのライセンスであるGPLを使っているので、オープンソースと呼ばずにフリーソフトウェアと呼ぶのが正しい
- フリーソフトウェアの成功を考えてみる

成功をマーケティング視点で考える

- 費用逓減(利益逓増)の枠組みからはずれての開発資源投入
- 細分化されたセグメントへの独占性
- 競争における協調モデルに対してGPLは有効だった
 - The Prisoner's Dilemma(囚人のジレンマ)を上手に解いている
- ソフトウェアのコモディティ化
 - マーケット変化によるプロプライエタリなソフトウェアの価値の変化

GPLとThe Prisoner's Dilemma

- 囚人のジレンマ
 - 非ゼロサムของเกมセオリー
 - 数理学
 - マーケティング理論ではなからず習う
- Merrill Flood , Melvin Dresher (1950)
- Robert Axelrod, Douglas Hofstadter (1984)
 - The Prisoner's Dilemma model

R. Axelrod <http://www-personal.umich.edu/~axe/>



The Prisoner's Dilemma Model

GPLは協力・協力ポジションに
固定化され安定しているのが
ポイント

Player A

Player B

	Cooperate	Defect
Cooperate	<i>GPL</i>	-5/0
Defect	0/-5	-5/-5

Player A / Player B

ソフトウェアのコモディティ化

- サービスを提供する時代へ変化中
 - マーケットが欲しいのはサービスである
 - ハードウェアでもソフトウェアでもない
- フリーソフトウェアとして公開しようとしまいとサービスには関係ない
 - Googleは同じソフトウェアを提供したとしてGoogleのコピーは作れるか？
 - サービスを提供することとソフトウェアを非公開にすることは直交している

マーケットの変化

ソフトウェアはコモディティ化してきており市場支配的な力を失いつつある

ソフトウェア
中心時代

ハードウェア
中心時代

サービス
中心時代

↔
We're Here

コードを隠すことでマーケットのイニシアティブを取れると考えるのは意識がソフトウェア中心時代から脱却しきれていない

“市場の失敗”から考える

- 市場を完全競争状態にしておくとその結果が社会的に最適なものとはならない
 - 自然独占
 - 公共財と準公共財
 - 外部経済・不経済
 - 情報の非対称性
- 公共財としてのフリーソフトウェアの存在
 - 国連組織のUNESCOではフリーソフトウェアポータルを用意している
 - スペイン エクストレマドゥーラ州の取り組み

これらは教科書的なリストアップであって決して某M社のことを取り上げているわけではない

UNESCO



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization



Free Software Portal

WebWorld Communication and Information Français

Search

Send Print Sitemap

Search Portal

Add link | Modify link | New links | Newsletter

Resources **About** | Points of View | News |

- > Communication and Information
 - > WebWorld Sitemap
 - > **About the CI Sector**
 - > Activities by theme
 - > Activities by region/country
 - > References
 - > Portals
 - UNESCO
- Freeware Portal 
 - > About the Portal
 - > UNDP/UNESCO
- FOSS Consultation
 - > Networks
 - > Supporting Research
 - > Intergovernmental Programmes
 - > Events

UNESCO Action Areas 

Tsunami in South Asia

Resources related to media, libraries, archives, ICT

- Tsunami in South Asia

Free Software Foundation (FSF) UNESCO Free Software Directory

Point of view

- UNESCO and Free Software , by Richard Stallman 10-12-2003 In  2001, as UNESCO begins to lend its support to the Free Software Movement, it is almost 18 years since we launched the movement and began developing the GNU operating system. We have come a long way. [Home](#)

Free Software Technology Resources

- **General Information**
 - Associations | Initiatives | Websites | Articles/Reports
- **Developer Documentation**
 - Developer Collections | Developer Books | Security
- **Software**
 - Communication | Courseware Tools | Development Tools | Digital Library | Operating System | Productivity Tools | Science and Education | Virtual Laboratory

Free Software Technology Movement

- Free Software History
- Free Software Licenses
- Free Software Development Process
- Free Software and Business
- Case Studies
- Online Bibliography

News



Lebanese Librarians Trained in Use of UNESCO Library Software
31-03-2005 (UNESCO Beirut) - Some 20 public libraries from all governorates of Lebanon recently received copies of the UNESCO's WINISIS software and their staff was trained in its use during a two-day workshop at the UNESCO Office in Beirut. [more](#)



Access to Thousands of Archives Through UNESCO Archives Portal
07-03-2005 (UNESCO) - More than 7,500 websites of archives and archival resources all over the world can be accessed through the new version of the "UNESCO Archives Portal", a directory of websites related to archives and records management, that was launched last week.

スペイン エストレマドゥーラ州

- 知識社会を作るための道具
 - 学校などは6000台分すべてgnuLinEXを導入
 - gnuLinEXは同州自治体がバックアップして作ったスペイン語のディストリビューション
 - 民主的な情報の共有を行うために州内ネットワーク網整備
 - フリーソフトウェアを用いてのインフラ整備を行っている
 - ビジネスのためのフリーソフトウェア
 - インキュベーションも

民主的で公平で自由な知識社会を作るためには、自由なソフトウェア (Software Libre) でなければならない。それを決断するのが政治である (1998年同州知事)

GPLを持つソフトウェア

- 増加の一途

- IBMでさえ自社製品であったJFSをGPLライセンス下で公開している
 - 時代はかわったものだ...(RMS said)
- GNU Projectが開発用ディレクトリを提供

<http://savannah.gnu.org/>

まとめ

- オープンソースっていつている連中は筋が悪い
 - そもそも言い始めた連中はITバブル期にIPOで金をもうけるのがビジネスモデルだったんだから
 - オープンソースという言葉が混乱するのも無理ないよね
- マーケティングの側面からみるとフリーソフトウェアは生存率が高いようなポジショニングができる
 - たぶん偶然
 - しかし20年間生き残ってきた現実の説明できる
- 公共財としてのフリーソフトウェア
 - 経済学でいうところの市場の失敗に対してフリーソフトウェアはちゃんと答えを出せている